ZEN-ON ELECTRONIC ORGAN EK-300DX

ゼンオン指導用オルガンEK-300DX

取扱説明書

ゼンオン

この度はゼンオン指導者用オルガンEK-300DXをお買い上げいただき、ありがとうございました。末永くご愛用いただくためにも、まず取扱説明書をよくお読みになり、正しい方法でご使用ください。また、この取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。表示と意味は次のようになっています。

製品本体に表示されているマークには次のような意味があります

注　意
感電の危険あり
本体をあけるな

注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないでください。

このマークは、感電の危険があることを警告しています。

このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

 警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

絵表示の例

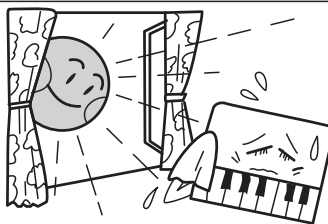
△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。
左図の場合は「指を挟まないよう注意」が描かれています。

○記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。
左図の場合は「分解禁止」が描かれています。

●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。
左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

⚠ 注　意

■本機を次のような所では使用しない
- ●窓際など直射日光の当たる場所
- ●暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
- ●戸外など極端に温度の低い場所
- ●極端に湿度の高い場所
- ●砂やホコリの多い場所
- ●振動の多い場所

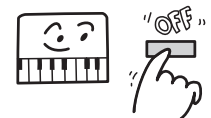
使用禁止

●故障の原因になります。

■鍵盤蓋は、ゆつくりしめる

ゆっくりしめる

●いきおいよくしめると、指をはさみ、けがの原因になります。

■コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

電源を切る

●本機や接続機器の故障の原因になります。

■本機の内部に異物を入れないようにする

異物を入れない

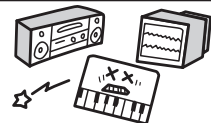
●水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

■本機の鍵盤にもたれない

もたれない

●本体が倒れる恐れがあり、けがの原因になります。

■テレビやラジオ等の電気機器の側に置かない

他電気機器から離す

●本機が雑音を発する恐れがあります。
●本礎が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用下さい。

■電源コード、接続コード類はからまないように接続する

からまないようにする

●コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

■ベンジンやシンナーで本機を拭かない

ベンジン／シンナー禁止

●色落ちや、変形の原因になります。
●清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いて下さい。

■本機の上に乗ったり、圧力を加えない

上に乗らない

●変形したり、倒れる恐れがあり、故障や、けがの原因になります。

●保証書について

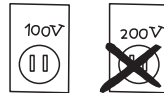
●本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入がない場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。
●保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管下さい。

●修理について

●万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡下さい。

⚠ 警　告

■電源は、必ずAC100Vを使う

100V以外禁止

●電圧の異なる電源を使用しないで下さい。
●発火の恐れがあります。

■水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

濡れた手で触らない

●感電の原因になります。

■本機を落とさない

●運搬の際は、必ず2人以上で運んで下さい。

■イスは次のように使用しない
- ●イスで遊んだり、踏み台にしない
- ●イスには2人以上座らない
- ●イスの高さ調整は、イスからおりて行う（調節機能付きの場合）
- ●蓋の開閉はイスから降りて行う

使用しない

●イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。

■ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない

長時間使用禁止

●聴力低下の原因になる恐れがあります。

■本機を分解、修理、改造しない

分解禁止

●故障、感電、ショートの原因になります。

■電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

プラグ部分を持つ

●コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

■長時間ご使用しない時は必ず電源プラグを抜く

プラグを抜く

●落雷時に火災の原因になります。

仕　様

- ●鍵　盤：61鍵（C2〜C7）／16音ポリフォニック
- ●音　源：PCMサンプリング音源
- ●音　色：18音色（ピアノ、ハープシコード、リコーダー、リードオルガン、パイプオルガン、グロッケン、フルート、オーボエ、クラリネット、トランペット、トロンボーン、ホルン、ストリングス、バイオリン、打楽器、琴、三味線、尺八）カスタムボイス128音色
- ●リズム：15種類（ロック1・2、スイング、マーチ1・2、ワルツ1・2、スローロック、16ビート1・2、8ビート、ビギン、サンバ、ボサノバ）／メトロノーム（クリック・ベル）テンポ28〜250
- ●コントロール：電源スイッチ／総合ボリューム／リズム・ボリューム／移調／オクターブ上下（ピアノのみ）／MIDI送信チャンネル／MIDIオクターブ／コーラス／サステイン／リバーブ／調律／エクスプレッション・ペダル
- ●接続端子：ヘッドフォーン／外部入力／外部出力／ダンパーペダル／MIDI（IN/OUT）
- ●出　力：20W×2
- ●スピーカー：13cm×2
- ●定格電源：100V、50/60Hz
- ●消費電力：38W
- ●外形寸法：930（W）×430（D）×810（H）mm（蓋を閉じたとき）
- ●重　量：34kg（本体）

各部の名称と扱い方

①電源スイッチ： 上側（ON）を押すと電源が入ります。使用後は必ず電源を切っておいてください。前面右手前のランプの点灯により確認できます。

②音量調節： 音量は「総合ボリューム」と「リズム・ボリューム」で調節します。「総合ボリューム」は鍵盤とリズムの両方の音量が変わり、「リズム・ボリューム」はリズムの音量だけが変わります。リズムを利用するときは、「総合」で鍵盤の音量を調節してから、「リズム」で音量のバランスを調節します。

③ヘッドフォン： ステレオ・タイプのヘッドフォンをご使用ください。ヘッドフォンを使用中は本体スピーカーからは音が出ません。

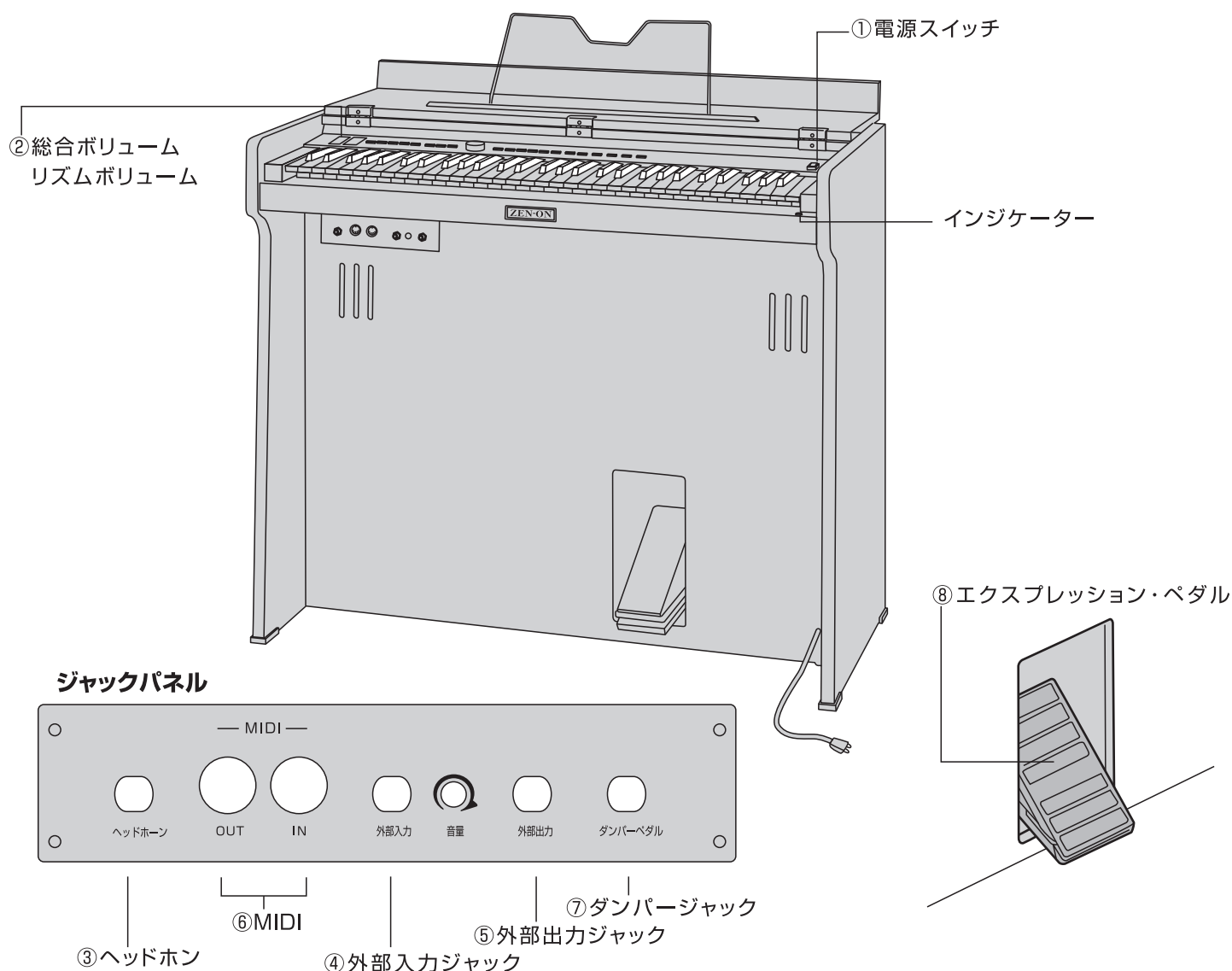
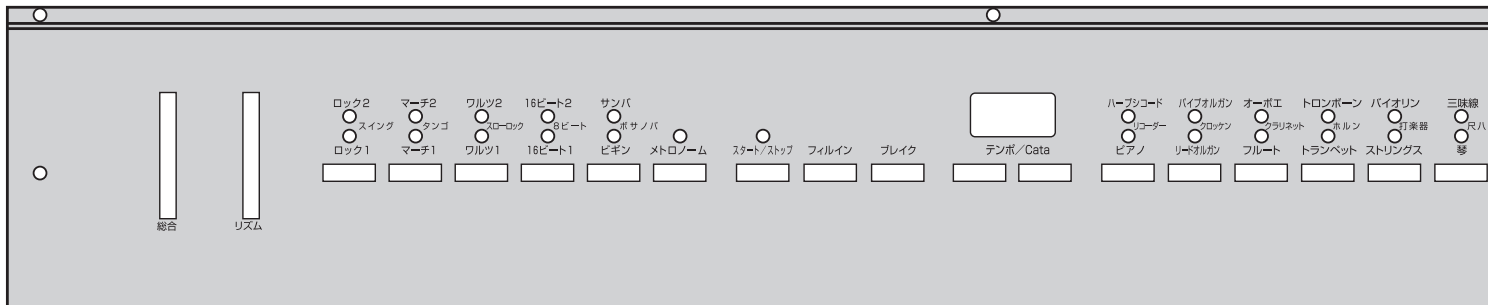
④入力ジャック： 他の楽器などを接続してEK-300DXから音を出すことができます。音量は入力ジャック横のツマミで調節できます。

⑤出力ジャック： EK-300DXの音を別のアンプから出すとき接続します。

※EK-300DXはステレオ式になっていますが、入力ジャック・出力ジャックはモノラルです。

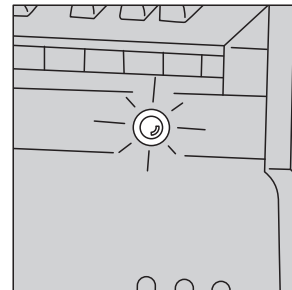
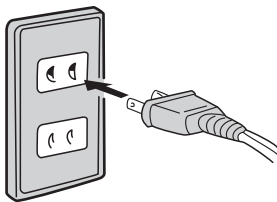
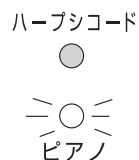
⑥MIDIジャック： **MIDI/IN**＝他の楽器などのMIDI/OUTとMIDIケーブルで接続します。他の楽器などでEK-300DXを鳴らすことができます。
MIDI/OUT＝他の楽器などのMIDI/INとMIDIケーブルで接続します。EK-300DXで他の楽器などを鳴らすことができます。

⑦ダンパー・ジャック： オプションのノーマル・オープンタイプのダンパー・ペダルを接続します。ペダルを踏むと鍵盤から手を離しても音がすぐ消えないで長くのびます。ノーマル・オープンタイプとは踏み込むとスイッチが入るタイプです。ノーマル・クローズタイプやハーフ・ダンパータイプには対応しておりません。

⑧エクスプレッション・ペダル： 足で音を調節することができます。踏み込むと音量が大きくなります。

弾いてみましょう

1．電源コードをつなぎましょう

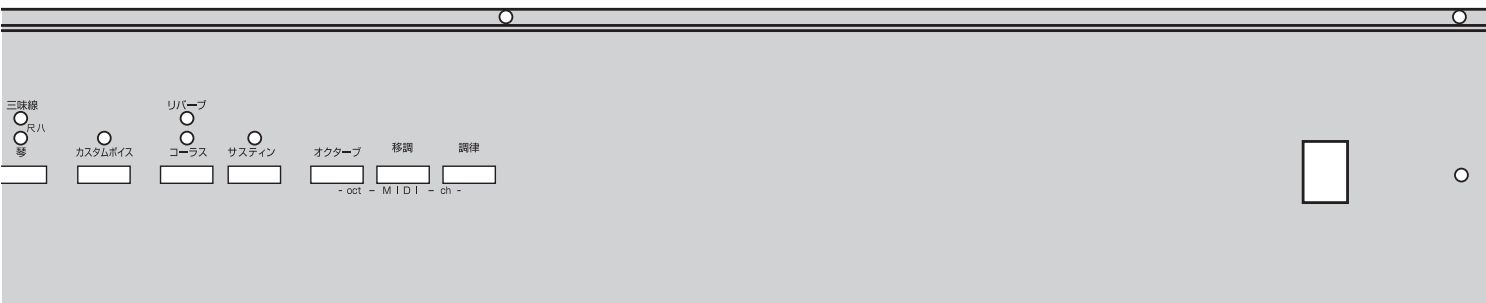
コンセントに電源コードのプラグを差し込んでください。

2．ピアノを弾いてみましょう

電源を入れると、前面右手前のランプが点灯し、ピアノのランプが点灯し、ピアノの音色で弾くことができます。

譜面立てを使う場合は、ジャック・パネル右側にあるフックから譜面立てをはずし、蓋を開けた上面に取り付けてください。　ヘッドフォンを使う場合は、ヘッドフォン端子に接続してください。

3．音量を調節しましょう

総合ボリュームのツマミを上下させて音量を調節してください。奥に動かすと音量が大きくなり、手前に動かすと音量が小さくなります。エクスプレッション・ペダルを踏み込んだ状態で最大音量に合わせてください。
リズムボックスを使用するときは、スタート／ストップでリズムを鳴らして、リズムボリュームでバランスを取ってください。

4．音色を変えて弾いてみましょう

音色は6つのボタンで18種類の音色から1種類を選びます。選びたい音色のボタンを押すと、下の音色→上の音色→中の音色（上下のランプが同時に点灯します）の順に切り換わります。
カスタムボイスを押すと、テンポ表示の数字が、1～128の数字になり、別表の音色になります。カスタムボイスを押したまま、テンポ／入力の▼▲ボタンを押して、別の音色に変えることができます。▼▲のボタンは押し続けると連続して変化します。（電源を入れたときは、音色1のアコースティックグランドピアノになります）

5．その他の機能を使いましょう

（1）**コーラス**：音の厚みを増すときに使います。

（2）**リバーブ**：音に残響を付けるときに使います。

※コーラス・リバーブは1つのボタンで切り換えます。1回押すごとに、コーラス（入）→リバーブ（入）→コーラス・リバーブ共（入）→コーラス・リバーブ共（切）の順に切り換わります。

（3）**サステイン**：音の余韻を残すときに使います。（入）にすると鍵盤から手を離してもすぐに音が止まらず、余韻が残ります。

※連続音・カスタムボイスには使用できません。（入）から連続音・カスタムボイスに切り換えると、（切）になります。
※ダンパー・ペダルを接続すると、ダンパー・ペダルが優先されます。ダンパー・ペダルを踏むと、サステインが（入）になります。

（4）**オクターブ**：「ピアノ」音色は音域を1オクターブ上下させることができます。

※オクターブを押すと、テンポ表示の数字が、 に変わります。オクターブを押したまま、テンポ／入力の▼▲ボタンを押して、オクターブを上下させることができます。
※ピアノ以外（カスタムボイスも含む）の音色では、 や に変えても音域は変わりません。

（5）**調律**：ピッチ（音程）を7段階（438〜444）に変えられます。他の楽器と音程を合わせるときに使います。

※調律を押すと、テンポ表示の数字が、438〜444に変わります。調律を押したまま、テンポ／入力の▼▲ボタンを押して、ピッチを上下させることができます。

（6）**移調**：鍵盤「C」の音が、「G」〜「F♯」の音に変わり、移調されます。

※移調を押すと、テンポ表示の数字が、－5〜6に変わります。移調を押したまま、テンポ／入力の▼▲ボタンを押して、上下させることができます。
※例：移調を押したまま、テンポ／入力の▼▲ボタンを5回押して「－5」にすると鍵盤「C」の位置がG音になり、ハ長調を弾けばト長調に変換して音が出ます。

6．電源スイッチを「切」にしてください

長時間使用しない場合は、必ず電源スイッチを切ってください。パネルのランプ類や、右手前のランプがすべて消えていることを確認してから蓋を閉じてください。

※電源スイッチを切ると、「オクターブ」「移調」「調律」などすべて初期状態に戻ります。

自動リズムを使いましょう

1．リズムの切り換え

電源スイッチを入れると、リズムは「ロック1」になります。5つのボタンで15種類のリズムから1つを選択できます。
選びたいリズムのボタンを押すと、下のリズム→上のリズム→中のリズム（上下のランプが同時に点灯します）の順に切り換わります。
リズムがスタートしているときに切り換えると、次の小節の1拍目から新しいリズムに切り換わります。

2．スタート／ストツプ

リズムをスタートするときと、止めるときに、このボタンを押します。
はじめにこのボタンを押すとリズムがスタートします。すでにスタートしているときに押すと、「エンディング」のリズム・パターンを演奏してから終わります。
続けて2度押すとすぐ止めることができます。
スタートするときに「フィルイン」のボタンを先に押したまま、スタートすると頭出しのカウントが入ります。

3．フィルイン・ブレイク

リズムを演奏中に「フィルイン」を押すと「フィルイン」のリズム・パターンが入り、「ブレイク」を押すと「ブレイク」のリズム・パターンが入ります。

4．メトロノーム

メトロノームにしてスタートするとクリック音が出ます。
メトロノームを押したまま、テンポ／入力の▼▲ボタンを押すと、テンポ表示の数字が、0～6の数字になり、ベル音が出て、拍子を表します。

※リズム→メトロノーム・メトロノーム→リズムに切り換えると、スタートしていても一度停止します。

5．テンポ調節

テンポ／入力の▼▲ボタンを押して速さを変えることができます。▼を押すと遅くなり、▲を押すと速くなります。▼▲を押したままにすると連続で変えることができます。

リズムパターン

	基本パターンA	基本パターンB	フィルイン	ブレイク	エンディング
ロック1	1	2	1	1	2
ロック2	1	2	1	1	2
スウィング	1	1	1	1	2
マーチ1	1	1	1	1	1
マーチ2	1	1	1	1	1
タンゴ	1	1	1	1	1
ワルツ1	1	1	1	1	2
ワルツ2	1	2	1	1	2
スローロック	1	1	1	1	2
16ビート1	1	1	1	1	2
16ビート2	1	1	1	1	1
Bビート	1	1	1	1	2
ビギン	1	1	1	1	2
サンバ	1	1	1	1	2
ボサノバ	2	2	1	1	2

MIDIの楽しみ方

MIDIとは、Musical Instrument Digital Interfaceの略で、あらゆる楽器などをデジタル信号で結ぶことのできる世界共通の規格です。この機能を持っているシーケンサーやコンピュータ・楽器などを接続し、EK-300DXを鳴らしたり、EK-300DXで他の楽器を鳴らすことができます。

1. MIDIの設定

MIDI送信チャンネル：MIDIの送信チャンネルは、1〜9に切り替えることができます。

※移調・調律の2つのボタンを同時に押すと、テンポ表示の数字が、ch1〜ch9になり、送信チャンネルを表示します。そのまま、テンポ／入力の▼▲ボタンを押して、送信チャンネルを変えることができます。

MIDI送信オクターブ：MIDIの送信ノートナンバーを変えることができます。

※電源を入れたときは、Mid（ノートナンバー36〜96）になっています。オクターブ・移調の2つのボタンを同時に押すと、テンポ表示の数字が、 に変わります。そのまま、テンポ／入力の▼▲ボタンを押して、送信ノートナンバーをLow（24〜84）またはHigh（48〜108）に変えることができます。

カスタムボイス

番号	楽器

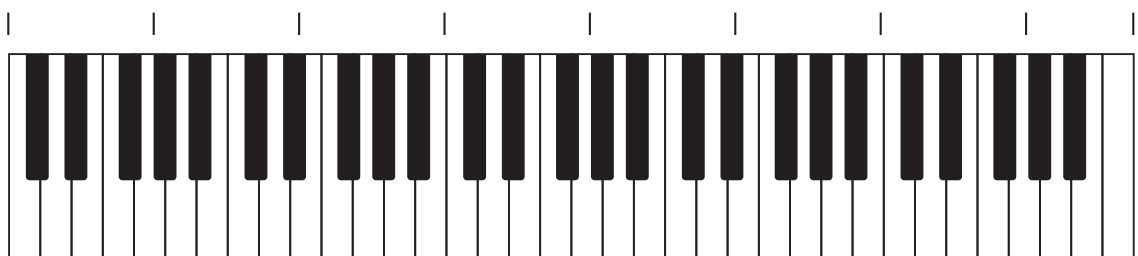
1.アコースティック・クランド・ピアノ
2.ブライトアコースティック・ピアノ
3.エレクトリック・グランド・ピアノ
4.ホンキー・トンク・ピアノ
5.エレクトリック・ピアノ1
6.エレクトリック・ピアノ2
7.ハープシコード
8.クラビ
9.チェレスタ
10.グロッケン
11.ミュージックボックス（オルゴール）
12.ビブラフォン
13.マリンバ
14.シロフォン
15.チューブラ・ベル
16.ダルシマー
17.ドローバー・オルガン
18.パーカッシブ・オルガン
19.ロック・オルガン
20.チャーチ・オルガン
21.リード・オルガン
22.アコーディオン
23.ハーモニカ
24.タンゴ・アコーディオン
25.アコースティック・ギター（ナイロン）
26.アコースティック・ギター（スティール）
27.エレクトリック・ギター（ジャズ）
28.エレクトリック・ギター（クリーン）
29.エレクトリック・ギター（ミュート）
30.オーバードライブ・ギター
31.ディストーション・ギター
32.ギター・ハーモニクス
33.アコースティック・ベース
34.エレクトリック・ギター（フィンガー）
35.エレクトリック・ギター（ピック）
36.フレットレス・ベース
37.スラップ・ベース1
38.スラツフ・ベース2
39.シンセ・ベース1
40.シンセ・ベース2
41.バイオリン
42.ビオラ
43.チェロ
44.コントラバス
45.トレモロ・ストリングス
46.ピチカート・ストリングス
47.オーケストラ・ハープ
48.ティンパニー
49.ストリング・アンサンブル1
50.ストリング・アンサンブル2
51.シンセ・ストリングス1
52.シンセ・ストリングス2
53.ボイス（アー）
54.ボイス（ウー）
55.シンセ・ボイス
56.オークストラ・ヒット
57.トランペット
58.トロンボーン
59.チューバ
60.ミュート・トランペット
61.フレンチ・ホルン
62.ブラス・セクション
63.シンセ・ブラス1
64.シンセ・ブラス2
65.ソプラノ・サックス
66.アルト・サックス
67.テナー・サックス
68.バリトン・サックス
69.オーボエ
70.イングリッシュ・ホルン
71.バスーン
72.クラリネット
73.ピッコロ
74.フルート
75.リコーダー
76.パン・フルート
77.ボトル・ブロウ
78.尺八
79.ホイッスル（口笛）
80.オカリナ
81.矩形波
82.鋸歯状波
83.蒸気オルガン
84.chiff
85.charang
86.ボイス
87.5度
88.ベース+リード
89.ニュー・エイジ
90.ウォーム
91.ポリシンセ
92.クワイア
93.bowed
94.メタリツク
95.halo
96.スウィープ
97.雨
98.サウンドドラック
99.クリスタル
100.アトモスフィア
101.ブライトネス
102.ゴブリン
103.エコー
104.SF
105.シタール
106.バンジョー
107.三味線
108.琴
109.カリンバ
110.バグ・パイプ
111.フィドル
112.シャナイ
113.ティンカ・ベル
114.アゴゴ
115.スティール・ドラム
116.ウッド・ブロック
117.太鼓
118.メロディック・タム
119.シンセ・ドラム
120.リバース・シンバル
121.ギター・フレット・ノイズ
122.ブレス・ノイズ

123〜128SFX

SFX123〜128の詳細

123	海辺		雨	雷	風	せせらぎ	泡	
124	鳥の声1		犬の鳴き声		馬の疾走		鳥の声2	
125	電話1		電話2	ドアのきしみ	ドアを閉める	ひつかく	ウインド・チャイム	
126	ヘリコプター	車のエンジン	車のスリツプ	車の通過	車の衝突	サイレン	汽車	ジェット機
127	拍手		笑い声	叫び声	パンチ	心臓音	足音	
128	鉄抱		マシンガン		レーザーガン		爆発	

ELECTRONIC ORGAN
MODEL EK-300DX

Date:01/01/'08
Version:1.0

ＭＩＤＩインプリメンテーション・チャート

ファンクション			送 信	受 信	備 考
ベーシック	電源ON時		1	1-16	
チャンネル	設定可能		1-9	×	
モード	電源ON時		モード3	モード3	
	メッセージ		×	×	
	代用				
ノート			36-96	24-96	
ナンバー	音域		＊＊＊＊＊＊	0-127	
ベロシティー	ノート・オン		×	○	
	ノート・オフ		×	×	
アフター			×	×	
タッチ			×	×	
ピッチ・ベンド			×	×	
コントロール チェンジ		64	○	○	ホールド1
		91	○	○	汎用エフェクト1
		92	○	○	汎用エフェクト3
		120	×	○	オール・サウンド・オフ
		121	○	○	リセット・オール・コントローラー
プログラム			○	○	
チェンジ	設定可能			0-127	
エクスクルーシブ			○	○	
コモン	：ソング・ポジション		×	×	
	：ソング・セレクト		×	×	
	：チューン		×	×	
リアルタイム	：クロック		×	×	
	：コマンド		×	×	
その他	：ローカル オン／オフ		×	×	
	：オール・ノート・オフ		○	×	
	：アクティブ・センシング		×	×	
	：リセット		×	×	
備 考					

モード1：オムニ・オン、ポリ　モード2：オムニ・オン、モノ　○：あり
モード3：オムニ・オン、ポリ　モード4：オムニ・オン、モノ　×：なし

音色「打楽器」の配列

Castanets
Mute Surdo
Open Surdo
High Q
Slap
Scratch Push
Scratch Pull
Sticks
Square Click
Metronome Click
Metronome Bell
Kick Drum 2
Kick Drum 1
Side Stick
Snare Drum 1
Hand ClaP
Snare Drum 2
Low Tom 2
Closed Hi-hat
Low Tom 1
Pedal Hi-hat
Mid Tom 2
Open Hi-hat
Mid Tom 1
High Tom 2
Crash Cymbal 1
High Tom 1
Ride Cymbal 1
Chinese Cymbal
Ride Bell
Tambourine
Splash Cymbal
Cowbell
Crach Cymbal 2
Vibra-slap
Ride Cymbal 2
High Bongo
Low Bongo
Mute High Conga
Open High Conga
Low Conga
High Timbale
Low Timbale
High Agogo
Low Agogo
Cabasa
Maracas
Short Hi Whistle
Long Low Whistle
Short Guiro
Long Guiro
Claves
High Wood Block
Low Wood Block
Mute Cuica
Open Cuica
Mute Triangle
Open Triangle
Shaker
Jingle Bell
Bell Tree

指導用オルガンEK-300DXと、ゼンオンミュージックボード101（電子式楽器指導盤）別売品を接続した場合

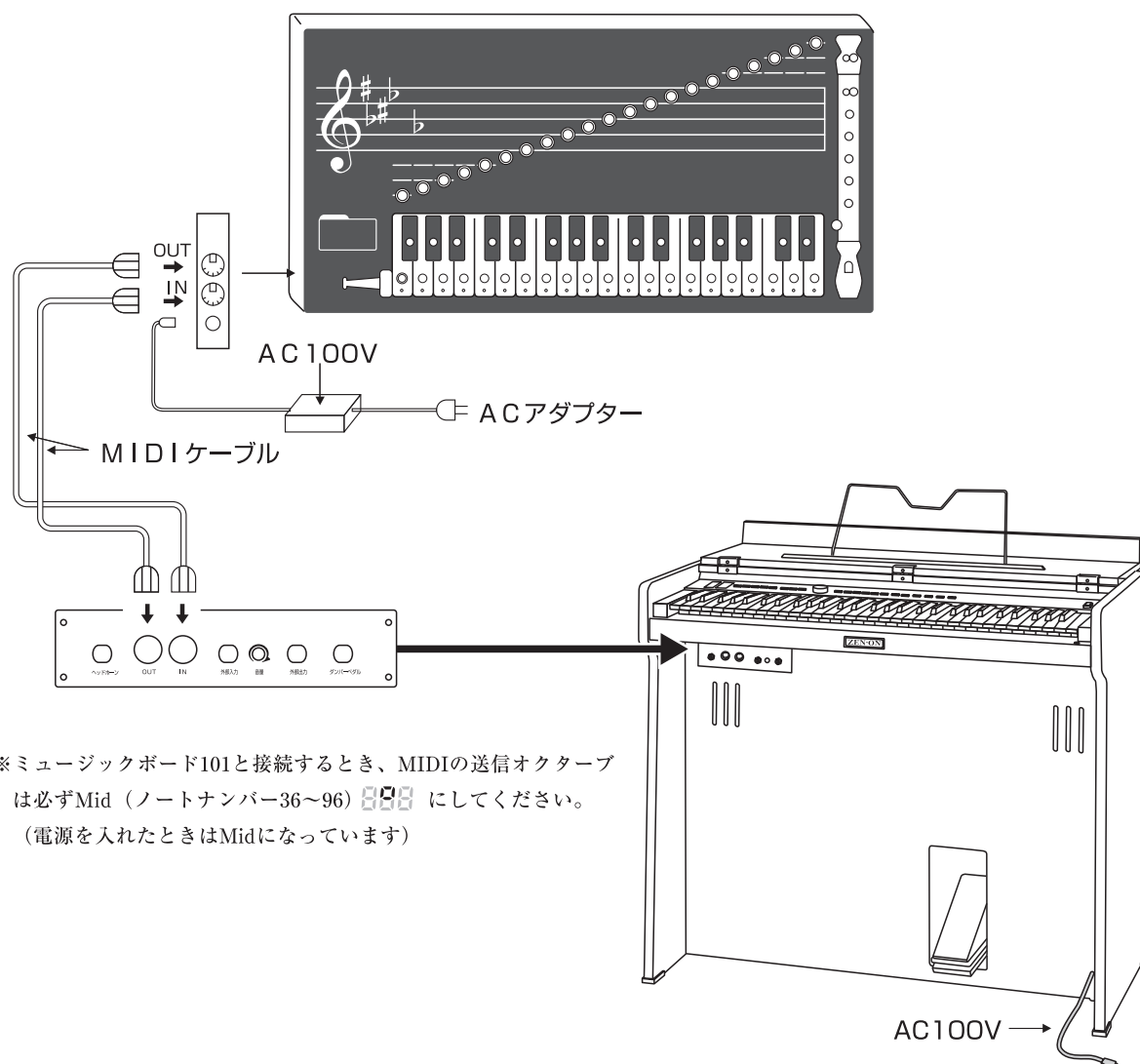
ゼンオンミュージックボード101に付属のMIDIケーブルIN、OUTをそれぞれEK-300DXのMIDI端子に接続します。

●ミュージックボードは指導用オルガンで弾いた箇所が五線譜、鍵盤ハーモニカ、リコーダー等にランプで点灯されます。

●従来の耳で聞く音楽指導に音の高さを表した、視覚効果をプラスします。

●また、ミュージックボードのディスプレイ上の鍵盤を押すと、接続した指導用オルガンEK-300DXから音を出すことができます。

●ミュージックボードのランプ表示で、音に対する理解度を向上させ、効果的な学習を展開することができます。

●指導用オルガンとミュージックボード101を接続した図

※ミュージックボード101と接続するとき、MIDIの送信オクターブは必ずMid（ノートナンバー36～96）にしてください。
（電源を入れたときはMidになっています）